



牡羊座
(3.21~4.19)

【全体連】すべき作業を黙々とこなすだけで、変化に乏しい日々になりがち。興味を引かれるジャンルに意識を向けてみて
【健康連】小まめに疲れの解消を。菌活もお勧め
【幸運の食べ物】スルメイカ



牡牛座
(4.20~5.20)

【全体連】旅行や飲み会に出掛けると自分の新たな可能性に気付けるかも。努力の成果が出やすく、頑張ってみる価値あり
【健康連】元気に過ごせそう。夏を満喫できるはず
【幸運の食べ物】カツオ

米の品質低下を軽減するため こまめな水管理と病害虫防除の徹底を!!

7月中旬の低温傾向により生育が心配されましたが、梅雨明け以降天候が回復し、田植が早い水田では7月末に出穂となりました。出穂～収穫までの登熟期間が最も水の必要な時期となりますので、品質の良い米が収穫できるよう水管理には十分注意してください。

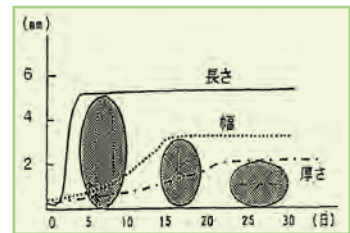


◎出穂後の水管理

- 出穂後、概ね2週間の夜温が23℃以上続く天候は白未熟粒の発生が助長されるので、気温や圃場条件に応じた飽水管理を徹底しましょう。
- 出穂期から成熟期までの登熟期は最も水分を必要とする時期であり、水管理を徹底することで高品質米につながります。

◎玄米の粒の形成

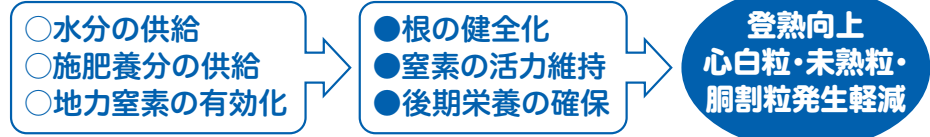
- 玄米の大きさは長さ、幅、厚さの順に成長していくため、**早く落水した水田の米は最後の厚さが十分でなく、粒厚の薄い米になってしまいます。**少なくとも出穂後30日までは落水しないようにしましょう。



◎飽水管理のポイント

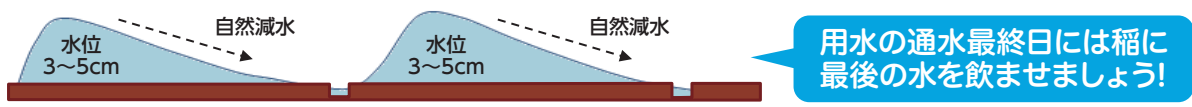
飽水管理とは?
「田面の足跡や溝に水が溜まっている状態」を保つ水管理です。

《飽水管理の効果》



飽水管理の期間 管理のポイント

- 田面に水分がなく乾いた状態のところでは、速やかにかん水する。
- 雨が降っても、足跡に水が溜まっていなければかん水する。
- 高温期の長期間の温水は「根ぐされ」を助長するので、田面が湿潤状態を維持する程度の間隔でのかん水「飽水管理」を行う。
- 用水の地域内調整を考え、水のかけ流しは行わない。
- フェーンなどの異常高温が予想される場合は、速やかにかん水を行う。



◎台風等の対策について

- ◎台風通過後はフェーン現象が起こるので、浅水管理にする。
- ◎稲が冠水して水没した場合は、速やかに落水する。

雑草の除去

近年、雑草種子（クサネムの実）の混入により、等級落ちが多く見られます。刈り取り前に、ほ場から取り除き、刈り取りを実施してください。
来年のため・等級を落とさないためにも、速やかにほ場より、撤去してください。





双子座
(5.21~6.21)

【全体連】一時の感情で行動すると失敗しやすい。冷静さを大切に。キッチンやお風呂など、水回りの掃除で通気が回復【健康連】暑くても体の冷やし過ぎはNG。ほどほどに【幸運の食べ物】スタチ

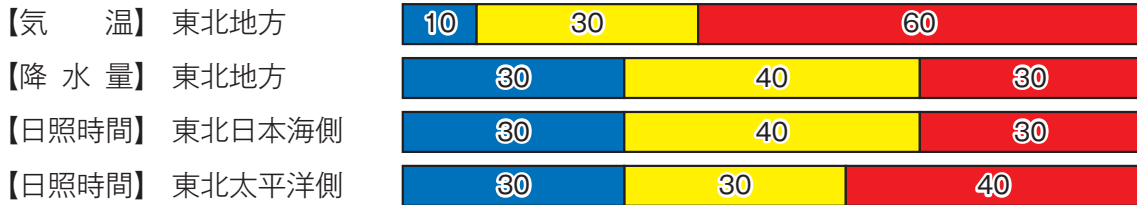
◎大豆の栽培管理の要点

- 【湿害対策】** ●明きよの補修等を行い、降雨によるほ場の停滞水を排出し、根の健全化に努める。
●湿害からの回復を早めるため、ほ場の停滞水を排出した上で、速効性肥料で追肥を行う。
- 【乾燥害対策】** ●開花期以降（7月下旬～9月上旬）は養水分吸収が多くなるので、少雨で高温乾燥が続く場合は、暗きよの水甲を閉める、明きよを利用して通水を行うなど水分保持に努める。
- 【病害虫対策】** ●子実肥大初期～中期（8月下旬～9月上旬）に「マメシンクイガ」、「フタスジヒメハムシ」及び「紫斑病」を対象とした殺虫剤、殺菌剤を散布する。
●「ジャガイモヒゲナガアブラムシ」は8月以降に多発して減収・品質低下を引き起こす場合があるので、大豆の葉をよく観察し、発生が多い場合は早期に殺虫剤の散布を行う。

参考) 古川農業試験場作況試験における開花期の平均値
標播（5月25日播種）タンレイ：7月25日、タチナガハ：7月25日、ミヤギシロメ：8月1日
晩播（7月5日播種）タンレイ：8月11日

◎東北地方1か月予報（8月3日から9月2日までの天候見通し）

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）> 令和元年8月1日 仙台管区气象台 発表



凡例： ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

～令和2年産「だて正夢」の生産に係る要望調査について～

宮城県で令和2年産「だて正夢」の作付要望を調査しております。

当JA管内では、本年約27haの取組みがありますが、県内統一した「生産対策実施要領」に基づき生産者の要望を取りまとめ致しますので、下記の内容を確認して頂き、作付希望の生産者は、JAまでご連絡をお願いいたします。

《宮城県「だて正夢」生産対策実施要領の生産者登録要件（抜粋）》

- 本年の耕作面積が「3ha」以上であり、生産調整方針へ参画する農業者。
- 県が供給する種子で作付けを行い、種子・苗の譲渡、自家採取をしないこと。
- 土づくりの取組み(稲わらすき込み・土壌改良剤等を散布して生産する。)
- 生産履歴の記帳と確認・情報開示など適正に行うこと。
- 玄米の選別は、1.9ミリを使用して、農産物検査・品質検査(食味値)を行うこと。
- 生産された玄米は全て出荷すること(飯米等の自家消費分を除く。) など

※詳細内容については、営農センター営農支援課まで直接ご相談下さい。TEL 022-384-2158

【令和1年産 JA米栽培履歴簿の確認について】

7月30日～8月3日に確認会を開催致しましたが、まだ確認を受けてない生産者については、営農センター又は各支店で必ず確認を受けるようにして下さい。

また、「だて正夢」については、別様式により登録生産者へ配布しております。

尚、環境保全米栽培については、中間確認を行い、現地調査を行ってまいります。

※品種・栽培方法・地番などの変更については、至急ご連絡をお願いします。



蟹座
(6.22~7.22)

【全体連】交友関係が一人に広がる気配。趣味や習い事の集まりには意欲的に参加して。人気店で逸品に遭